

平成 20 年度

事業報告書



特別養護老人ホーム **ニューフジホーム**

認知症対応型共同生活介護 **グループホームかえで**

はじめに

福祉をとりまく厳しい社会環境の変化に押し流されることなく、法人、高齢者支援系グループ、施設間の連携を図りながら円滑な施設経営の推移に努めました。

19年度も第三者評価事業審査委員、施設のオンブズマンより大変重要なお助言をいただき早速「利用者サービスの向上」に向けた議論や研修など行いました。

利用者本位の福祉サービスを実現する新たな取り組みとして逆デイサービスも名称を変え「みちくさ倶楽部」として外出やバーベキューなどのミニイベントも行いました。

当ホームは昭和56年8月1日に開設、以来20数年が経過、この間「利用者サービスの質の向上」を目指し、試行錯誤を繰り返す中、また多くの方々のご支援、地域の方のご協力を頂きながら、事業経営を図ってまいりました。

この経験と実績に育まれた信頼関係を確固たるものに築き上げるためにも、更なる努力を重ねてまいりたいと思っております。

各関係機関はもとより、利用者やご家族の皆様方から、地域の方など多大なるご理解ご協力を頂きましたことに感謝申し上げます。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

以下、20年度の事業概要を報告いたします。

1. 施設の事業概要

1. 特別養護老人ホーム

設置認可 事業開始	昭和 56 年 8 月 1 日 老人福祉法による特別養護老人ホーム 平成 12 年 4 月 1 日 介護保険法による介護老人福祉施設 介護保険事業者番号 1374000162(東京都)
所在地	東京都昭島市中神町 1260 番地
施設の規模	敷 地 21,205.187 m ² (国有地)
	建 物 3,382.35 m ²
定員	100 名

2. 短期入所生活介護(ショートステイ)

設置認可 事業開始	昭和 56 年 12 月 1 日 昭島市高齢者在宅サービス事業 平成 12 年 4 月 1 日 介護保険法による短期入所生活介護事業 介護保険事業者番号 1374000162(東京都)
所在地	東京都昭島市中神町 1260 番地
施設の規模	特別養護老人ホーム内
定員	4 名(空床 6 名)

3. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

設置認可 事業開始	平成 15 年 4 月 1 日 介護保険法による認知症対応型共同生活介護 介護保険事業者番号 1374000567(東京都) 平成 18 年 4 月 1 日 地域密着型サービス(昭島市)
所在地	東京都昭島市中神町 1260 番地
施設の規模	敷 地 556,81 m ² (国有地)
	建 物 322,47 m ²
定員	9 名

4. みちくさ倶楽部(逆デイサービス) – 自主事業

近所にある「ひだまりサロン」へ訪問し家庭的な雰囲気でのレクリエーションなどを行うとともに地域へ積極的に出かけ利用者の生活の質向上を行っています。

2 利用者サービス・生活相談

1. 施設サービスを取り巻く状況について

ニューフジホームは昭和 56 年より事業を行っており、老朽化や設備面でも使いづらい部分が多数存在しています。今年度は利用者の要望に応え食事の環境(QOL)向上に努めました。全ての方に暖かい食事をお出しするため温冷配膳車を新たに購入したほか床改修や 1 階ホール・玄関前の扉設置など可能なかぎり改修いたしました。

さらに利用者に少しでも楽しんでいただけるように数多くの行事・イベントを企画したほか、誕生会では利用者一人ひとりの要望を聞き取り、茶話会や外出支援を活発に行いました。特に外出はご家族やボランティアの方々にも協力いただき、多くの方が参加することができました。これらの個別支援は単に利用者に喜んでいただけるだけでなく、日々業務に追われている介護員がともに過ごすことで、介護本来の喜びを感じてもらおうというねらいもあるだけでなく、利用者の想いや能力を新たに発見できることも多くありました。

一方わが国の経済状況は「100年に一度」と言われる程の景気悪化が進み、企業の倒産も増え雇用も不安定な状況にあります。各自治体も税収が減少する中で急速な勢いで進む少子高齢化の対策に追われているところですが、「後期高齢者医療制度」の混乱や年金の問題も露呈した年でもありました。特に介護職員不足はニューフジホームでも深刻化しています。介護の担い手がいないという介護保険制度の根幹を揺るがす事態と危惧するところです。

また医療サービスについても例外ではなく、医師や看護師不足から、利用者の急変時の救急医療や入院の受け入れに関しても支障が出始めているのも事実です。ニューフジホームでは同一法人運営の病院と協定を結んでいますが、昭島病院も例外ではなく、救急での受け入れができない場合もあり、近隣の他病院への受診や入院も増加傾向にあります。

これらのことから定期通院や緊急でない受診についてはご家族等のご協力をいただかなくてはならない状況にありますのでどうぞよろしく願いいたします。

過去の教訓を活かし、今年度も館内の清掃や衛生管理を徹底し、幸いにも感染性胃腸炎やインフルエンザのまん延を防ぐことができました。今後も医療機関や保健所との連携をはかり、感染症予防の取り組みをすすめてまいります。

2. 利用者の状況について

① 利用者の保険者(区市町村)について(別表⑥)

ニューフジホームは「住所地特例施設」であり、利用者の前住所地の保険給付を受けております。現在延べ 13 の保険者のうち昭島市が最も多く、地域からの要望が多いことがわかります。一方 23 区内からも多数のお申し込みもあり、平成 21 年 3 月現在待機者の数はおおよそ 600 件でした。

② 利用者の年齢

利用者の年齢の平均は 86.8 歳(男性 83.1 歳、女性 87.2 歳)で昨年度と比べてもほぼ同じです。一番若い方は 59 歳、高齢な方は 103 歳でした。

③ 入退所について

今年度の入所された方は 13 名でした。入所される理由としては「在宅で介護が困難である」ことが最も多いですが最近では「経済的に困難」を理由に入所される方も増えています。ニューフジホームは老人福祉法に基づく福祉施設でもあるため、家族関係で介入が必要な方や生活困窮者の受け入れも積極的にすすめております。

一方退所される方は 14 名で、疾病等で医療機関での対応を余儀なくされてしまう場合が大半を占めています。

④ 入所期間別一覧

利用者の重度化が進んでいる状況の中で利用期間は平均 3 年です。重度の介護が必要な利用者は体調を崩されることが多くその結果利用期間も短くなってしまう傾向にあります。

3. 相談支援について

利用者やそのご家族からの相談については随時受け付け即座に対応するように心がけました。入所間もない利用者への心理的なケアやご家族の介護への要望等への対応をいたしました。

4. 施設サービス計画について

施設サービス計画(ケアプラン)の作成につきましては担当ケアマネージャー(相談員兼務)が利用者の要望に基づいたプランを作成しご家族にも交付させていただきました。今年度は利用者本人やご家族にも参加いただき、ともに利用者本人の「その人らしい人生」を考え、日々の介護方法を検討させていただきました。利用者やご家族に参加していただくことで施設職員が気づくことができない事柄も明

らかになりました。

5. 要望・苦情について

利用者から寄せられる苦情の多くは食事や居室内の環境に関する事柄でした。食事に関しましては管理栄養士を中心に「嗜好調査」も実施して鋭意改善させていただいております。また、外出したい等の要望も多いことから「逆デイサービス事業」の活用や個別外出の対応も積極的に行っています。

第三者評価やオンブズパーソンからは職員の言葉遣いやケア方法についての指摘があり、最優先課題として職員への研修・教育を行いました。

6. 地域や関係機関との交流について

地域住民や関係機関とのネットワークを強化する目的で、地域交流会を実施しました。「認知症」をテーマとして地域で暮らす高齢者が利用できるサービスを紹介し住民との情報交換を行いました。交流会では昭島市地域包括支援センター、昭島病院、昭島市東部地区民生委員及び介護サービス事業者の協力をいただきました。

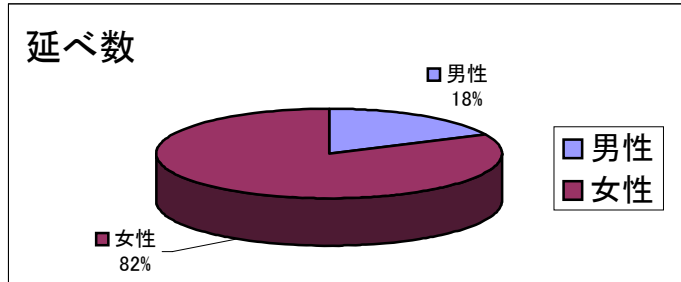
また、地域のボランティアの育成や介護・福祉学生育成の一環として、ボランティア講座や大学のワークショップへの講師派遣、近隣自治会への施設備品貸し出しなど、施設の持つ資源を積極的に地域還元させていただきました。

その他地域の事業者連絡会「あきしま地域福祉ネットワーク」への参加、東京都社会福祉協議会での部会活動に参加しました。

1.利用者の状況

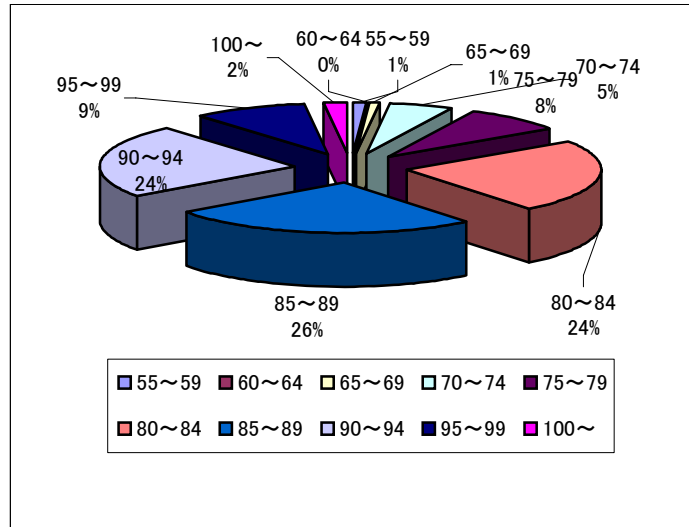
①性別 平成21年3月31日現在

	実数	延べ数
男性	18	6039
女性	89	27425
計	97	33464



②年齢構成 平成21年3月31日現在

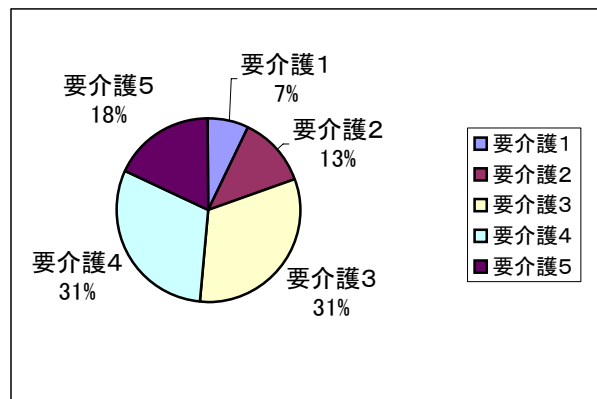
年齢	男性	女性	計
～54	0	0	0
55～59	1	0	1
60～64	0	0	0
65～69	1	0	1
70～74	1	4	5
75～79	2	6	8
80～84	4	19	23
85～89	3	22	25
90～94	4	19	23
95～99	2	7	9
100～	0	2	2
計	18	79	97



最高年齢	103
最小年齢	59
平均年齢	86.8

③介護度の内訳 平成21年度実人数

要介護度	男性	女性	計
要介護1	1	7	8
要介護2	3	11	14
要介護3	7	28	35
要介護4	7	27	34
要介護5	4	16	20
計	22	89	111
平均介護度	3.25		



④利用形態 平成21年3月31日現在

入所形態	男性	女性	計
措置入所	0	0	0
介護保険入所	旧措置入所	6	9
	通常入所	14	88
合計	17	80	97

⑤利用前後の状況

入所

平成21年度総計

	在宅	医療機関	施設	その他	計
4月			1		1
5月	1	1			2
6月					0
7月			2		2
8月			1		1
9月					0
10月					0
11月					0
12月			1		1
1月			1		1
2月			2		2
3月	1		2		3
計	2	1	10	0	13

退所

平成21年度総計

	死亡	長期入院	在宅	施設	その他	計
4月		1				1
5月						0
6月						0
7月	2	1				3
8月						0
9月						0
10月						0
11月						0
12月		1				1
1月	4					4
2月	1					1
3月	2	2				4
計	9	5	0	0	0	14

⑥保険者一覧

平成21年度総計

	男性	女性	計
昭島市	16	61	77
新宿区	2	6	8
千代田区		1	1
大田区		2	2
中野区		2	2
世田谷区	1	1	2
北区		1	1
杉並区	1	1	2
小金井市		1	1
八王子市		1	1
小平市	1	1	2
立川市		4	4
武蔵野市		1	1
川崎市		1	1
福生市	1		1
豊島区		2	2
東大和市		1	1
渋谷区		1	1
練馬区		1	1
計	22	89	111

⑦利用期間 平成21年3月31日現在

利用期間	男性	女性	計
～1	5	8	13
1～4	6	46	52
5～9	4	22	26
10～14	1	3	4
15～19	1	0	1
20～	1	0	1
計	18	79	97

⑧身体状況

平成21年3月31日現在

状態	男性	女性	計
全介助(日常生活自立度Ⅲ以上)	3	10	13
一部介助	4	56	60
自立	9	15	24
車椅子利用者(再掲)	12	64	76
計	16	81	97

⑨所得状況

平成21年度総計

状態	男性	女性	計
第1段階	5	24	29
第2段階	6	48	54
第3段階	8	11	19
第4段階以上	2	7	9
計	21	90	111

⑩利用延べ回数

入所利用(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	464	610	610	532	552	480	500	500	500	480	365	446	6,039
女性	2,360	2,288	2,274	2,332	2,356	2,272	2,339	2,234	2,287	2,289	2,061	2,333	27,425
計	2,824	2,898	2,884	2,864	2,908	2,752	2,839	2,734	2,787	2,769	2,426	2,779	33,464
利用率	94.1%	93.5%	96.1%	92.4%	93.8%	91.7%	91.6%	91.1%	89.9%	89.3%	86.6%	89.6%	91.7%

短期入所利用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	16	17	14	14	11	12	11	14	16	12	11	11	159
延人数	239	175	175	143	155	157	143	168	191	162	144	152	2,004
利用率	199.2%	141.1%	145.8%	115.3%	125.0%	130.8%	115.3%	140.0%	154.0%	130.6%	128.6%	122.6%	143.2%

入所+短期利用

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	3,063	3,073	3,059	3,007	3,063	2,909	2,982	2,902	2,978	2,931	2,570	2,931	35,468
利用率	98.2%	95.3%	98.0%	93.3%	95.0%	93.2%	92.5%	93.0%	92.4%	90.9%	88.3%	90.9%	93.4%

⑪その他の件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアプラン作成	1	19	16	22	15	15	20	17	6	8	9	14	162
認定調査代行	1	1	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	8
苦情要望	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	5
ヒヤリハット	17	9	11	7	7	9	10	61	49	54	45	50	329
事故	36	47	44	47	43	40	45	6	10	7	8	6	339
身体拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オンブズマン	0	4	0	0	4	0	8	7	5	5	4	0	37

2. 行事・レクリエーション

施設内行事

	月日	行事名	場所	参加人数	備考
4	～4	お花見	近隣	65	
	22	4月誕生会	1階ホール	70	
5	5	端午の節句・菖蒲湯	ホール 浴室	全員	
	17	衣料品購入会	1階ホール	56	
	14	家族の集い	1階ホール	23	
	27	5月誕生会	1階ホール	全員	
6	24	6月誕生会	1階ホール	全員	
7	7	七夕	1階ホール	78	
	11～15	お盆・迎え火、送り火	1階ホール	72	
	22	納涼の夕べ	近隣小学校	56	
	24	7月誕生会	1階ホール	全員	
8	22	ビアガーデン	玄関前・ホール	70	
	26	8月誕生会	1階ホール	全員	
9	6	合同防災訓練	昭和郷各施設	10	
	12	敬老を祝う集い	1階ホール	75	
	18	しのぶ会	1階ホール	75	
	30	9月誕生会	1階ホール	全員	
10	1	お月見	1階ホール	78	
	19	10月誕生会	1階ホール	全員	
	28	昭和郷フェスティバル	昭和郷各施設	20	
11	8	家族の集い	1階ホール	21	
	14	衣料品購入会	1階ホール	45	
	25	11月誕生会	1階ホール	全員	
12	19	年忘れ会	1階ホール	60	
	23	12月誕生会	2階ホール	76	
1	1	新年会	1階ホール	60	
	27	1月誕生会	1階ホール	61	
2	2	節分	1階ホール	75	
	24	2月誕生会	1階ホール	全員	
3	18	合同納骨式・しのぶ会	1階ホール	65	
	24	3月誕生会	1階ホール	全員	

3. 地域交流

月	内容	形態	参加人数	備考
4	昭和郷保育園お茶会参加	レクリエーション	8	
7	昭和中学校職場訪問	職場体験	6	
7	聖心女子学院	レクリエーション	40	
7	昭島市社協 体験ボランティア	レクリエーション	1	
9	昭和中学校職場体験	職場体験	5	
9	松田町立中学校	職場体験	1	
10	総合的な学習(ボランティア)4回	総合学習	20	
7	昭和郷第二保育園(七夕)	レクリエーション	18	
11	昭和郷第二保育園(勤労感謝)	レクリエーション	16	
2	昭和郷第二保育園(節分)	レクリエーション	20	
3	東小学校児童交流	レクリエーション	40	
3	昭和郷第二保育園(ひなまつり)	レクリエーション	18	
3	民生委員・関係機関懇談会	懇談会	30	
合計			223	

4. ボランティアの受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ちぎり絵	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	11
将棋	0	1	1	5	3	4	5	4	2	2	3	13	43
喫茶	2	2	2	2	2	3	3	4	3	4	4	4	35
散歩	8	8	11	12	18	11	12	7	11	12	9	27	146
裁縫・編み物	6	12	2	9	6	8	9	6	6	8	14	10	96
カラオケ	5	7	2	5	3	4	5	4	3	4	3	4	49
ミシン	7	4	8	15	9	10	11	10	5	1	0	2	82
書道	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
操体	5	4	3	4	3	4	4	4	3	4	3	3	44
器楽	17	17	14	14	10	10	15	11	12	17	14	13	164
朗読	4	4	3	2	0	3	3	1	1	1	2	1	25
対話	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4	3	9	20
三味線	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3
傾聴	7	8	6	4	7	4	3	4	5	6	5	7	66
リネン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
車椅子清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
手品	3	3	3	3	0	2	2	3	3	3	3	3	31
演芸	10	11	7	15	25	16	21	5	16	17	14	9	166
行事	15	13	14	16	25	0	0	0	6	0	0	0	89
計	91	96	78	108	112	83	97	68	77	85	79	110	1084

5. 選挙(不在者投票)

日付	内容	人数	備考
10月3日	昭島市長及び市議会議員再選挙	82	

6. 第三者評価・オンブズマン

日付	内容	評価者	人数	備考
10月22日	第三者評価ヒヤリング	福祉をよくする市民の会	3	
12月25日	第三者評価講評	福祉をよくする市民の会	3	

7. 実習生の受け入れ

月	内容	実習内容	実習生	備考
4	YMCA専門学院	介護福祉士	6	
6	目白大学	介護福祉士	4	
7	大正大学	社会福祉士等	9	
8	東京家政学院大学	介護福祉士	6	
10	秋草学園専門学校	介護福祉士	1	
11	淑徳短期大学	介護福祉士	2	
11	白梅短期大学	介護福祉士	2	
2	早稲田福祉専門学院	介護福祉士	9	
3	昭和の森看護専門学校	看護師	15	
4	立川市看護専門学校	看護師	12	
合計			66	

8. 地域・関係団体への還元

月	内容	人数	備考
8	社協ボランティア講座への講師派遣	1	
4	専門学校への実習指導講師派遣	1	
1	大学ワークショップへの講師派遣	1	
2	地域交流会における講師派遣	4	
合計		7	

平成20年度 みちくさ倶楽部 実施状況

	実施日	場所	内容	利用者	職員	備考
1	4月4日	ひだまりサロン	散歩・談話	3	京岡	
2	4月18日	サーカス会場	サーカス鑑賞	2	跡部	社協サーカス招待
3	5月23日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	(若生・板東)	
4	6月13日	ひだまりサロン	散歩・談話・カラオケ	3	鈴木・板東	
5	6月20日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	田村	
6	7月4日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	徳村	
7	7月11日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	2	齋藤	
8	7月18日	ひだまりサロン	カルタ・談話・カラオケ	3	(高橋)	
9	9月5日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	奥平・実習生	
10	9月19日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	2	徳村	
11	10月3日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	大槻	
12	10月10日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	2	学原	
13	10月31日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	高山	
14	11月7日	ひだまりサロン	カルタ・談話・カラオケ	3	田中真	
15	11月21日	ひだまりサロン	談話・カラオケ	3	京岡	
16	11月28日	ひだまりサロン	お手玉・あやとり	2	江東	
合計				43		

オンブズパーソン・苦情解決

「オンブズパーソン」とはスウェーデン語で「代理人」を意味します。利用者一人ひとりの代理人となって、不当・不公平なサービスによって利用者が不利益を受けることがないように、サービス提供者を監視し是正行動をする組織です。

平成 20 年度は、家族代表として斎藤勇氏、斎藤香代子氏の 2 名が担当し、施設からは園長、各担当責任者にて活動をいたしました。

(主な活動内容)

4 月 ・ オンブズパーソン宅にて利用者と食事

5 月 ・ 20 年度、事業計画の概要説明。

7 月 ・ オンブズパーソン宅にて利用者と食事

10 月 ・ 昭島市長・市議会議員再選挙立会人

11 月 ・ 検食

随時 斎藤勇氏、斎藤香代子氏（家族代表）による利用者個別相談

苦情相談窓口

苦情や要望に関しましては法人の苦情解決規定により適切に対応させていただいております。施設内では苦情相談窓口（24 時間受付体制）を設置し、苦情相談への迅速な対応を心がけました。20 年度の苦情及び要望件数は以下 4 件でした。

	苦情・要望内容（概要）	対応
1	同室者の発言に対し、本人が傷つき精神的につらい。	同室者に対しては状況を説明し、居室変更で対応しました。
2	職員にもっと言葉がけしてほしい。	ケアプラン要望に反映するとともに介護職員への周知徹底を行いました。
3	リネン室や処理室の戸が開いていて寒い。	使用後は速やかに扉を閉めるように徹底しました。
4	さやま園のたくわん販売で事前予約していたがバザーで売り切れとの知らせを聞いてがっかりした。事前販売の意味がないと思う。	たくわんに人気があることを説明するとともにさやま園に報告し、次回事前販売に配慮していただくよう依頼しました。
5	同室者の物音が深夜・早朝にわたり耳障りである。	代替の居室を用意するとともに物音がたたないように消音シールを購入しました。
6	面会に行くと在宅酸素のスイッチが OFF になっていた。万一のこともあるので注意してほしい。	介護・看護職員への周知徹底を行いました。

2. 介護部門(平成 20 年度事業報告)

今年度も介護職は、ニューフジホームの基本方針である「人権の尊重」「一人ひとりに応じた生活支援」「地域社会との交流」を柱に据えて質の高いサービスが提供できるように取り組んでまいりました。5大介護(食事・排泄・入浴・口腔衛生、美化整容)の各係担当が他セクションと連携を図り、毎月の介護員会議の中で進捗状況を報告し、新たな課題や改善に取り組みました。また居室担当者は施設サービス計画(ケアプラン)が個別のニーズに沿ったサービスとして適切に提供されているかを含め、毎月「月のまとめ」で総括し、再アセスメントやモニタリングに結びました。

研修委員会は人材育成を目標に外部研修や内部研修、他施設見学、緊急時対応マニュアル作成など介護の知識・技術の向上に努めました。

事故対策委員会は身体拘束廃止委員会と連携を図りながら事故とヒヤリ・ハットを区別し、多発する事故の場所・移乗方法・生活の仕方など要因分析を速やかに実施することで再発防止に結びました。

サービスマナー委員会は全職員対象にマナーのセルフチェックを定期的に実施し、また第三者(家族・実習生)の率直な意見にも耳を傾け、職員全般の意識改革とマナーの向上に繋がりました。

今年度もインフルエンザや急性胃腸炎などの感染症予防対策を強化し、トイレや手摺り、共同に使用する廊下や食堂などの消毒・清掃に力を入れ、常に清潔な生活環境となるよう施設全体で取り組んだ結果、今年度もインフルエンザや急性胃腸炎の罹患者は一人も出ませんでした。

設備改修においては一般浴室床を滑り止めタイルに改修したことで利用者は勿論、介護スタッフもより安全な入浴援助ができるようになりました。また2階食堂壁の撤去と食事スペースを明るいカラーの床に貼り替えたことで、安全確認の強化と食堂としての一体感が生まれました。更に1階用に大型の温冷配膳車の購入と蓋つき食器を使用したことで、家庭と同様に温かい食事が常時提供できるようになりました。

今年度も毎月の誕生会は勿論、利用者の様々な要望に答え外出の機会を増やし、動物園、近隣の公園、カラオケボックス、レストラン、グループホームかえでとの合流食事会など外出支援を積極的に推し進め、地域交流に繋げることができました。また、ニューフジ独自の『ビアガーデン』を今年度も開催し、多くのご家族、ボランティアのご協力もあり、利用者、職員が共に一体となって夏の夕べを満喫し、喜びを共有することができました。

【食事援助】

①事故防止と感染予防

- ・事故防止対策マニュアルの徹底、誤嚥時の対応方法や吸引器の使用方法を新人職員に指導しました。
- ・不測の事故に備え、食堂に吸引機を常備設置しました。
- ・2階廊下での食事場所を1階の食堂に移し、家庭的な雰囲気とより安全な食事場所となるよう取り組みました。
- ・食事前に石鹸を使用し流水で手を洗う、不可能な人は手指消毒（クリンメソッド使用）を徹底し感染予防に努めました。

②環境整備

- ・個々の機能に合った食事席とテーブルの配置などを継続的に検討しました。
- ・食事時間帯にBGMを流しました。
- ・家庭的な雰囲気を味わえるような蓋付食器を導入しました。
- ・大型の温冷配膳車を購入したことで全ての利用者が温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供することができ、より食事の満足度が高くなりました。
- ・2階食堂の壁を撤去、床面を明るい色調に張り替え、食事時の安全確認もしやすくなり、食堂としての一体感も生まれました。

③自己摂取に向けて

- ・リハビリと連携を図り、個々に合った介護皿や自助具などの検討をしました。
- ・車椅子上でも自己摂取しやすいようポジショニングやテーブルの高さを調整しました。
- ・栄養士や医務と連携を図り、個々の機能に合わせた食事形態の提供、嚥下機能低下者にはトロミアップの使用、栄養面でリスクの高い人には補食の検討や嗜好に合わせた代替食の提供に努めました。

④摂取量の把握と対応

- ・食事摂取量、水分摂取量記録の徹底を図りました。
- ・食事の形態、トロミの有無など定期的に見直し必要に応じ変更しました。
- ・アイソトニックゼリーやスポーツドリンクを代替することで飲水量の確保に努めました。

⑤給食会議（第3月曜日開催）

- ・栄養士、介護課長、食事係担当者、委託業者と連携を図りながら、献立・調

理配食・配膳・下膳の流れの中で安全でより美味しい食事が提供できるように話し合いました。また、委託業者と介護職業務の住み分けを図ることで介護中心に専念することができ、事故防止にも繋げる事ができました。

⑥食事改善報告書の活用

- ・調理方法や刻み食、ミキサー食が不適切な形態になっている場合など問題点を提起し、高齢者に向けた安全な食事が常に提供されるよう、委託業者に改善を求め協力をお願いしました。

【排泄援助】

① 排泄介助の標準化

- ・排泄介助のマニュアルに沿ったケアが行われているか、「基本の振り返り」を意識するよう啓蒙しました。
- ・1階2階の排泄援助方法が常に統一されたケアになるよう見直し改善しました。

②環境整備

- ・汚物処理室を各フロアの中心部に設け、用途の拡大と職員の導線が短縮化され、効率的に排泄援助が進められました。
- ・オムツカートの使用方法を大幅に見直すことで、安全面の向上と援助内容の拡大に繋がりました。
- ・使用後の紙オムツの処理（新聞紙に包む）や、トイレ介助後の排泄物品を速やかに片付けることで防臭対策に努めました。

③個別ケアと自立支援

- ・各セクションと連携を図りつつ、トイレ介助を積極的に推し進め、個々の身体機能に合った排泄援助をすることでADLの維持に繋がりました。
- ・排泄表チェックの徹底と活用方法を話しあい、医務と連携しながら排泄表に下剤使用状況を記載することで、排便コントロールに繋げることができました。

④褥瘡予防対策と感染予防対策

- ・リハビリの協力を得ながら、個々にベット上でのポジショニング（四肢の位置）や体位変換方法をレクチャーし、個別に実施することで褥瘡予防に繋がりました。
- ・陰部を微温湯で洗浄にすることで清潔保持と共に、皮膚疾患・褥瘡予防にも努めました。

- ・感染予防のためワンケア・ワン消毒を徹底しました。
- ・定時にトイレ内の清掃、及び使用後の排泄用品などを消毒することで、感染予防と清潔保持に繋がりました。

⑤人権尊重とサービスの質の向上

- ・プライバシーの保護、サービスマナーの徹底を図り、利用者の立場に寄り添った援助を目指しました。

⑥コスト削減

- ・紙オムツの使用量を調査し、個々にあった使用方法を話しあい工夫することで、紙オムツの使用量を大幅に削減することができました。
- ・従来の紙オムツ以外の製品も試行し、市場調査を実施しました。また他施設「フジホーム」の見学も実施し参考にしました。

【入浴援助】

①環境整備と事故防止対策

- ・一般浴室床を滑り止めタイルに改修し、安全な入浴環境に整備しました。
- ・浴室内の壁に風景写真を貼り、リラックスできる環境となるよう務めました。
- ・毎年実施している細分化された入浴グループを見直し、常に利用者の状況に合わせたグループの再調整を行うことで、安全でゆったりとした入浴環境作りと事故防止の徹底に努めました。

②人権尊重への配慮

- ・着脱時、洗身時にはプライバシーの保護に努めました。
- ・個々に合った入浴方法を目指し、入浴グループの再編成の際には本人了承のもと、一人ひとりの生活リズムを考慮しながら実施しました。
- ・一般浴の入浴スタイルを素足・サンダルで介助することを継続し、より密着した援助を行うことができました。
- ・入浴拒否が強い利用者には同性介護やマンツーマン方式をとり、個別にゆったりと入浴していただけるように援助しました。

③物損予防対策

- ・脱衣時に衣類のポケット内の持ち物確認を徹底し、物損防止に努めました。
- ・洗濯時の衣類の縮みをなくすため、脱衣時の衣類を手洗い衣類と区別して洗濯に出すよう徹底しました。

④清潔保持と皮膚疾患の早期発見

- ・入浴時に全身を観察し、痣・内出血・皮膚疾患などを発見した時は、医務に正確な情報を速やかに伝達しました。
- ・乾燥肌による掻痒者には入浴後、ボディローションを塗布しました。
- ・入浴日以外でも、希望者や皮膚疾患などで必要な利用者には毎朝 9 時に上半身の清拭を実施し、清潔保持に努めました。

⑤生活チェック表の活用

- ・個別の生活チェック表に入浴のチェックを転記し、情報の個別化を図りました。(入浴しなかった理由や代替の全身清拭も記録しました。)

⑥物品の管理

- ・髭剃り・替え刃・髭剃り用ジェルなど使用感の良いものを検討し、定期的に購入し提供しました。
- ・特に女性利用者にはリンスを提供し、日常生活の中で整髪し易いよう配慮しました。
- ・機械浴を定期的に点検し、部品の不備や破損には早めに修繕依頼をしました。

【口腔衛生】

①清潔保持と健康維持

- ・1日3回、毎食後の口腔ケアの徹底を図り、肺炎等の感染予防に努めました。
- ・夕食後の口腔ケアで個別の容器に水を張り義歯を預かりました。
(ポリデントによる洗浄日を増やす)
- ・経管栄養者の口腔ケアの実施により不顕性肺炎の予防に繋がりました。
- ・トロミ使用の水分補給者には口腔ケアを実施し、誤嚥防止に取り組みました。

②残存機能と摂食

- ・自立者の口腔ケアの推進を図り、口腔内の清潔保持とより美味しい食事に繋がるよう援助しました。(正しいブラッシング指導)

③物品の管理と衛生管理

- ・歯ブラシの定期的な交換、練り歯磨きの補充、備品の管理を実施しました。
- ・使用後のガーグルなど備品の消毒、滅菌庫の定期的な清掃を徹底しました。
- ・義歯ネーム付けを継続して実施しました。

④感染予防対策

- ・ワンケア毎に使い捨て紙コップの使用とグローブ交換を徹底しました。
- ・滅菌庫を増設し、感染症による罹患者のブラシを分けるなど、特に気をつけてケアを実施しました。

⑤個別ケアの充実

- ・口腔ケア個別情報リストを作成ファイル化することで、個別対応の充実と統一したケアが実現できました。

【美化整容】

①居住環境を整える（居室内の整理整頓）

- ・キャビネット内の衣類区分けを表示し、衣替えは居室担当者が実施しました。
- ・今年度もキャビネット内の整理整頓に努めました。
- ・離床時にベッド上の埃を払い、清潔保持とベッドメイクに力を入れ、いつも気持ちよく休んでいただけるよう取り組みました。
- ・事故防止と物損をなくすため、ベット周りのコード類の整理、及び全居室の床頭壁にボードを取りつけコントローラーが掛けられるよう整備しました。
- ・洗面所・トイレにペーパータオルのホルダーを取り付け、使用しやすくしました。

②身だしなみの点検

- ・衣類の繕い（ボタンつけ、ゴムの交換、ズボンの裾上げなど）を随時ボランティアに依頼し、常にきれいな装いができるよう対応しました。
- ・離床時に整髪（寝癖直しスプレー）、髭剃り、口元の汚れ、衣服の汚れ、着衣の乱れなどを点検し、気持ち良く1日が過ごせるよう援助しました。

③車椅子の清掃と管理

- ・車椅子が食事や排泄などで汚れたときは随時、速やかに洗浄し常に清潔な車椅子を提供しました。
- ・タイヤの空気圧の点検、及び空気が抜けている時は随時注入しました。

④衣料品の補充と管理

- ・衣料品や入院備品など定期的に点検し、不足品が生じた時は相談員やご家族に依頼し、年2回の衣料品購入の機会を利用し補充しました。

平成20年度

介護状況一覧表

*毎月1日現在の数値です

	月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年	19年	20年
人 数	在籍人数	99	98	97	98	100	100	99	100	99	99	99	100	99	100	99	100	100	100	99	100	100	100	100	97
	入院	3	3	4	6	5	1	3	7	7	3	8	8	8	9	7	7	11	10	9	9	9	9	9	10
食 事	自立	54	64	53	63	58	64	59	60	57	65	56	67	57	66	60	67	58	65	61	63	63	61	64	61
	一部介助	24	15	22	16	22	16	22	15	19	11	19	10	18	12	15	13	13	13	12	15	11	12	12	12
	全介助	14	13	12	11	12	15	12	15	13	15	13	15	13	14	13	14	16	13	15	12	15	12	13	12
	経管栄養	4	3	3	1	3	3	3	2	3	3	3	0	3	1	4	2	2	2	2	1	2	2	2	2
	投薬介助	66	67	68	67	72	71	71	67	71	69	70	68	70	66	66	68	65	69	68	70	70	67	72	67
	2階食堂	32	28	32	26	33	28	35	27	32	25	28	28	29	27	28	28	27	26	29	25	29	24	26	25
排 泄	自立	25	25	24	26	24	26	25	25	23	27	25	25	25	24	26	24	25	24	22	24	24	22	22	22
	トイレ介助	32	39	32	39	33	39	33	39	33	39	31	40	30	37	32	37	29	34	35	35	33	31	36	28
	ポータブルトイレ	4	5	3	5	3	5	3	5	3	5	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	3
	オムツ	62	58	59	53	63	59	61	53	57	58	55	57	59	57	57	59	55	59	57	59	57	56	56	56
移 動	歩行	14	15	14	15	15	15	14	14	13	18	12	20	14	20	14	20	13	20	14	19	15	19	15	18
	車椅子	82	80	77	77	79	80	81	79	79	77	79	72	77	71	78	73	76	70	76	72	76	68	76	69
移 乗	自立	40	37	40	38	40	39	41	38	37	40	34	39	35	39	38	39	36	39	35	40	35	36	35	34
	全介助	56	58	53	54	55	60	55	54	55	55	57	53	56	52	54	54	53	51	55	51	56	51	56	53
	体位交換	23	17	20	17	19	18	20	17	19	20	19	20	19	20	17	20	16	18	16	17	16	16	17	17
	センサーマット	21	20	21	19	17	20	18	17	18	21	20	19	20	16	22	16	19	17	21	17	21	16	18	14

4. 医務

同一敷地内に病院があることにより利用者の健康管理に関しては他施設に比べてより進んだものになっておりますが、慢性的な看護職員不足や夜間時の救急対応等で課題があるのも事実です。重度者の受け入れをすすめるためにも昭島病院以外の受診や定期検診などの緊急性の低い受診に関してはご家族の協力をいただいております。

1. 入退院について

今年度は昨年度に比べ入院される方は微増にとどまっていますが、入院期間はやや長期化していることがうかがえます。これは利用者が重度化したことや疾病の早期発見・治療に取り組んだことが理由と考えられます。また系列病院の昭島病院が満床状態のなか、病院との連携強化を行なうことで他病院へ入院に関しては最小限にとどめることができました。

緊急時の対応や搬送については円滑にできるように救命処置の研修やカルテ情報の整理、またご家族からも救急搬送についての意思確認を示していただきました。今後も施設サービスでは利用者の重度化が進むことが予想されることから、主治医をはじめとする医療機関との連携や看取り体制の整備の必要性が求められます。

2. 受診(通院)について

同一敷地内に病院があるため一般の老人福祉施設に比べ、すぐに受診できるという安心感がありますが、年間900回もの通院(1日あたり2名)があるため、通院の付き添いについて職員で対応できない場合も増えています。

3. 健康管理について

今年度は発熱や食欲不振などにより、検査目的で入院する傾向がありました。また、ご家族にも面会時の手指消毒や衛生管理をお願いした結果、幸いにも冬季の感染症(インフルエンザ・急性感染性胃腸炎等)のまん延はありませんでした。

4. ご家族への病状説明について

医師の回診時に治療が必要な場合などは、インフォームドコンセントの観点からもご家族への状況説明をいたしました。

医務

診療実態

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回診	61	76	62	86	52	74	71	54	56	58	62	66	778
注射	36	33	48	65	60	73	68	74	89	74	69	66	755
シヨート	0	4	3	0	5	3	1	3	4	2	2	0	27
検査	76	72	52	81	81	34	26	20	18	30	29	44	563
受診	101	82	80	74	77	78	80	83	71	84	81	75	966
精神科 受診	18	12	16	15	16	14	16	13	17	16	15	14	182
計	292	279	261	321	291	276	262	247	255	264	258	265	3271

受診内訳(昭島病院)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	29	26	22	19	22	21	21	25	28	31	26	26	296
外科	8	4	6	4	4	2	5	0	0	2	6	1	42
整形外科	29	23	15	18	17	15	18	21	17	15	16	12	216
皮膚科	9	4	10	6	7	11	11	15	7	9	8	4	101
耳鼻科	1	5	1	0	1	7	1	1	1	2	1	2	23
泌尿器科	8	6	8	7	8	7	9	3	9	8	5	7	85
歯科	6	8	10	8	7	9	2	6	2	9	9	7	83
眼科	9	4	8	11	7	4	10	8	5	6	6	10	88
計	99	80	80	73	73	76	77	79	69	82	77	69	934

受診内訳(他病院)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	0	0	0	0	1	1	2	1	2	0	0	2	9
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
泌尿器科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
眼科	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	6
循環器科	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	3
精神科	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	1	4	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
計	2	2	0	1	4	2	3	4	2	2	4	6	32

入院実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	8	4	4	10	13	12	9	7	5	5	4	2	83
19年度	11	9	8	9	10	14	14	16	12	14	14	10	141
20年度	8	7	6	10	12	15	9	13	18	17	16	13	144
前年差	-3	-2	-2	1	2	1	-5	-3	6	3	2	3	3

入院延人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度	103	92	132	168	136	263	237	133	74	63	109	148	1658
19年度	150	174	76	216	192	241	218	195	296	280	266	164	2468
20年度	66	128	85	179	163	254	213	269	307	252	319	190	2425
前年差	-84	-46	9	-37	-29	13	-5	74	11	-28	53	26	-43

入院回数(人)

回数	20年度	19年度	前年差
1	29	34	-5
2	11	9	2
3	6	3	3
4	2	2	0
5以上	2	0	2
計	50	48	2

入院期間

日数	20年度	19年度	前年差
～30	49	37	12
～60	20	10	10
～90	11	5	6
90～	10	10	0
計	90	62	28

入院病院

病院	人数	備考
昭島病院	63	内科・整形
竹口病院	2	内科
福生病院	1	循環器科
八王子医療センター	1	眼科
平川病院	1	精神科
合計	68	

栄養部門

1. 食生活の改善

栄養価の充足率

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄
基準値	1411kcal	52.2g	39.2g	600mg	6.1mg
年間実施平均値	1421kcal	56.5g	34.3g	599.6mg	8.2mg
充足率	100.7%	108.2%	87.5%	99.9%	134.4%

2. 栄養ケアマネジメント

栄養スクリーニング・アセスメントを通じ、利用者一人ひとりの食事状況や食形態、身体状況(体重・身長・BMI・血清アルブミン値など)を把握して、栄養ケア経過記録を作成し、栄養状態の評価を行いました。ご本人やご家族の要望、他職種とケアプラン会議を持ち、一人ひとりの最適な栄養ケア計画書を作成し、利用者やご家族からの同意をいただきました。また、低栄養改善のため補食としてプロテイン、プロテインゼリー、エネルギーゼリーをお出ししました。

3. 治療食

医師の食事箋に素づき、糖尿病食・減塩食・脂肪制限食・経管栄養を提供しました。特に、糖尿病食・減塩食については介護保険の加算は療養食として加算されました。

4. 行事

毎月1回の誕生会の中で、お楽しみ給食をお出し、季節の食材を使用した食事を提供しました。その他に、年忘れ会には希望をとってお寿司・刺身・ちらし寿司・うな重などをお出ししました。お正月には1日に新年会を行い、おせち料理を用意しました。

5. 給食会議

施設長・介護長・介護員・管理栄養士・委託側の栄養士・配膳員のメンバーで毎月1回話し合いの機会を持ちました。2階利用者への配膳の工夫、新しく購入する食器の選定、献立内容について他職種との意見交換の場として有意義なものとなりました。

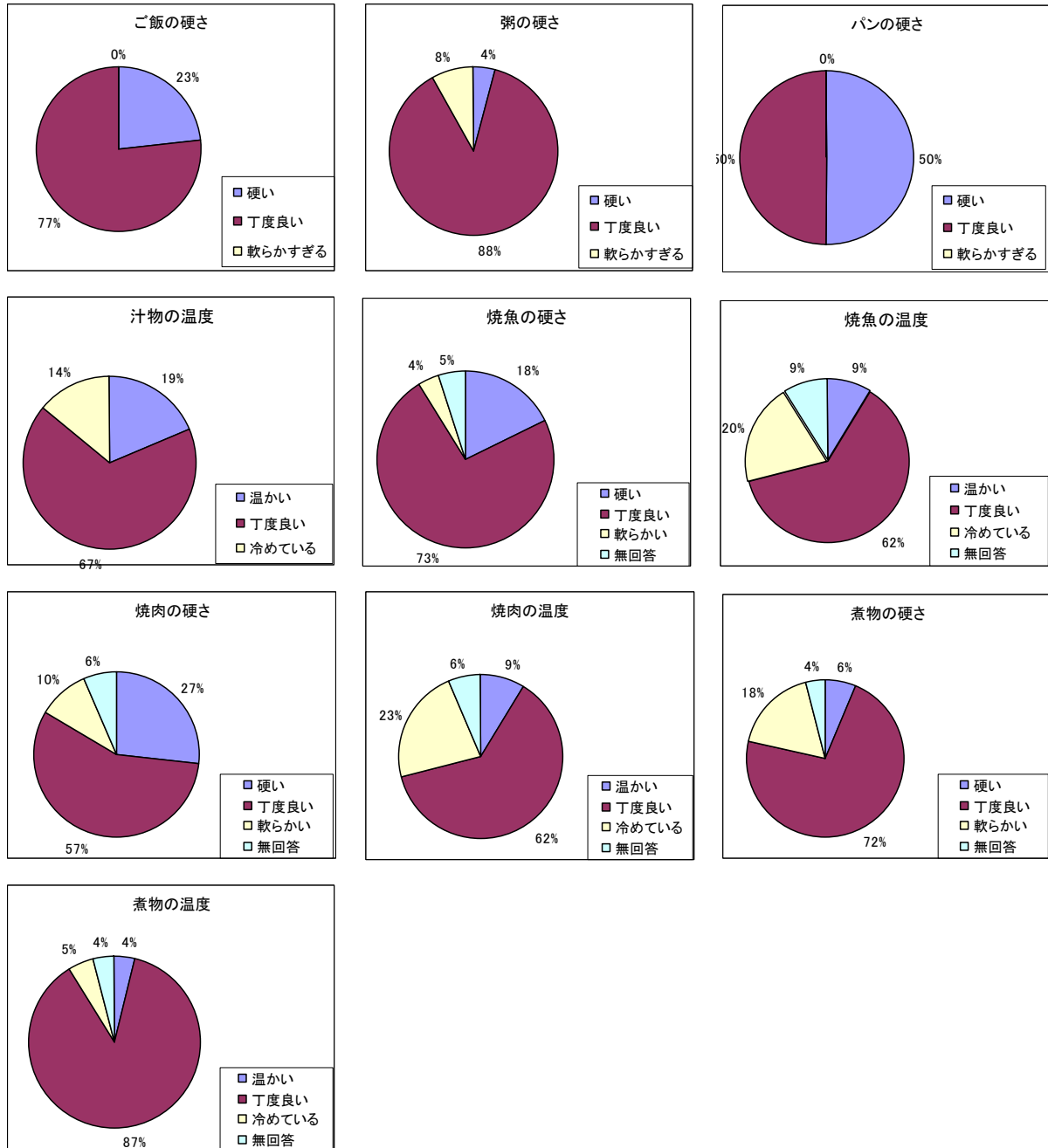
6. 嗜好調査

今年度嗜好調査を実施し、結果は以下のようになりました。

調査期間 平成 20 年 6 月 6 日～29 日

対象 ニューフジホーム利用者 96 名 (うち回答不能者 17 名)

目的 利用者の食事への嗜好や希望を調査し、今後の献立内容の改善資料とするため



概ね、丁度良いと評価していただきましたが、汁物・肉魚料理の温度が冷めているとの意見が多く、温冷配膳車の温度設定やスイッチを入れる時間などに配慮していきたいと思ます。

6. リハビリテーション部門

1. 集団

①レクリエーション活動

- ・ 月・水・木曜日 10:15～11:30
ストレッチ体操・上肢と下肢の運動・歌・早口言葉・ことば探し・日常生活の中から話題を共有する等、楽しんで参加できるプログラムを組みました。
- ・ 体育指導員講師を中心にリハビリスタッフが補助としてかわり、できる限り個別に対応するように努めました。
- ・ 演芸ボランティア（大正琴・歌・演歌・踊り・手品・三味線と踊り・歌&オカリナ&ギター等）の協力を得て、レクリエーション活動の中で観賞してもらい、楽しい時間を共有できるように努めました。
- ・ 地域の小学生や中学生が、総合学習の職場訪問で来園し、一緒に歌を歌い、ゲームやクイズを行うなど交流を深める良い機会となりました。

②器楽

- ・ 毎週金曜日 10:00～11:30
軽いストレッチ体操・音階練習・大きい声を出して歌を歌う・楽器を使用して合奏及び上肢運動・足踏みや足上げなどの下肢運動・歌体操・詩を朗唱するなど、楽しみながら声を出し、身体を動かして、基礎体力の維持や心肺機能の低下予防につなげるように努めました。
- ・ 療育音楽講師の指導のもと、リハビリスタッフとボランティアの協力を得て、できる限り個別に対応するように努めました。
- ・ トーンチャイムやツリーチャイムやコンガなどの新しい楽器を大勢の方に楽しんでもらうように努めました。
- ・ 昨年度に引き続き、ペットボトルを再利用して打楽器として使い、音を楽しみながら上肢の運動に力を入れて取り組みました。
- ・ 七夕・節分・ひな祭り等の行事には保育園児が来園し、園児たちの歌を聞いたり、お遊戯を見たり、一緒に歌を歌ったりして交流を深め、ほのぼのとした雰囲気でした。
- ・ 年忘れ紅白歌合戦（平成20年12月16日）
 - ・ 独唱参加者 16名
 - ・ トーンチャイムの演奏（リハビリスタッフとボランティア）
「バラが咲いた」 「きよしこの夜」

- ・ 歌の審査と各賞の発表・表彰を行いました。
- ・ 利用者・職員・ボランティアともに楽しい時間を過ごすことができ、楽しい年忘れ会となりました。

2. 個別

①理学療法

- ・ 基本的な生活動作で必要な機能の維持・回復を目的に、個人のニーズや問題点の検討・分析により、ケアプランに基づき実施しました。
- ・ 理学療法士・作業療法士の受療を毎月各々2回実施し、評価・分析から方針を立て、個別訓練やグループ活動・日常生活に反映させるように取り組みました。

②作業療法

- ・ 個々の興味を持てる種目を用意し、生きがいのある余暇活動ができるように援助しました。
- ・ 刺し子・ちぎり絵・編み物・ステンシル・ぬりえ等を行いました。
- ・ 書道は月一回、1階と2階曜日を分けて、ボランティアの協力を得て行いました。

③その他の余暇活動

- ・ 囲碁は週一回、ボランティアの協力を得て行いました。
- ・ 朗読会を月3回、ボランティアの協力を得て実施しました。
- ・ カラオケを毎週水曜日、ボランティアの協力を得て実施しました。
- ・ 散歩を毎週水曜日の午前中、ボランティアの協力を得て実施しました。外の空気に触れ、四季を感じてもらい大勢の利用者に喜ばれました。
- ・ パソコンを機能訓練室の前に2台設置し、インターネット上で麻雀と囲碁の対戦を行い、余暇を楽しんでいただきました。

3. その他

①車椅子・シーティング

- ・ 『個々の身体の状態と生活に適合した車椅子やクッション』ということを中心として、理学療法士・作業療法士の指導・助言をもとに、車椅子やクッションの検討・購入に向けて業者との連絡・調整を行いました。

②ポジショニング・体位変換

- ・ 褥瘡予防や舌根沈下による呼吸確保、関節可動域制限の予防や改善、各肢位の維持のため、ベッド上や車椅子上のポジショニングや体位変換を理学療法士・作業療法士より指導・助言を受け、『生活の場での機能の改善や維持』に努めました。

③食事用具・食事形態

- ・ 食事動作を観察し、個々に合った自助具の検討や提供、テーブルの高さ調整を行いました。作業療法士による食事形態の適合の評価を行いました。

④補助具・装具の検討

- ・ 理学療法士・作業療法士の受療から、本人に合った補助具・装具などを検討し、指導・訓練・修理の依頼や調整を行いました。

⑤灸療法

- ・ 痛みや運動疾患に対して、希望者にお灸を実施しました。

6. 入居者会議

ニューフジの会

日時 毎月第4火曜日 AM10:30～11:30

場所 1階フロア

参加者 約70名

〈 内容 〉

- ・新入居者の紹介と挨拶
- ・異動職員・退職者・実習生・ボランティアの紹介
- ・当月行事の感想を聞く
- ・来月の行事予定と催し物の内容説明
- ・各セクションからの連絡事項、注意事項、協力依頼など
- ・当月誕生者を紹介し、全員で祝う（祝辞・誕生者の挨拶）
- ・施設長挨拶

〈 主な連絡事項や話題 〉

- ・平成20年度週間プログラムの内容説明
- ・居室担当者の紹介
- ・主な改修工事について
2階食堂床の貼り替え
1階食堂パーティション扉の追加
2階一般浴場床の修繕
- ・年末年始の過ごし方
- ・感染症（急性胃腸炎）について注意事項
- ・インフルエンザ予防接種及び注意事項と予防対策
- ・平成21年度事業計画について意見、要望を聞く。

ニューフジの会は、利用者の生活に関する最新の情報を各セクションからわかりやすい言葉で丁寧にお伝えしました。また、当月の誕生会者をお一人ずつ紹介し、全員でお祝いしました。季節の話題や楽しいニュースなども盛り込みながらリラックスした雰囲気作りを心掛け実施しました。

8. ボランティア活動

*定期的な日々の活動や各種行事に大勢のボランティアの協力を得ました。
*地域に働きかけて、演芸を午前のレクリエーション活動の中で実施して、利用者に喜ばれました。

・ちぎり絵	毎月 1 回施行			
・囲碁	毎週 1 回施行			
・麻雀	随時			
・喫茶	毎月 2 回施行			
・散歩	毎週水曜日施行			
・編み物・手芸	主に水曜日施行			
・カラオケ	毎週水曜日施行			
・ミシン	毎週水・木曜日施行			
・書道	1 階・2 階毎月 1 回施行			
・操体療法	毎週水曜日施行			
・器楽	毎週金曜日施行			
・朗読	第 1・2・4 金曜日施行			
・傾聴	毎月 1～3 回（月曜日・木曜日）施行			
・演芸	大正琴	2 グループ各々隔月施行		
	手品	毎月 1 回施行		
	演歌と踊り	3 ヶ月に一回施行		
	民謡と踊り	4 ヶ月に一回施行		
	踊り	4 ヶ月に一回施行		
	琉球舞踊	6 ヶ月に一回施行		
	ギター&オカリナ	3 ヶ月に一回施行		
	歌	毎月一回施行		
	フラダンス・人形劇・ダンス	各一回施行		
	・行事	不在者投票（都知事選挙）	4 月 6 日	5 名
		不在者投票（市議会議員選挙）	4 月 20 日	5 名
		不在者投票（参議院議員選挙）	7 月 24 日	3 名
		お花見週間	4 月 1 日～4 月 5 日	13 名
衣料品購入会		5 月 18 日	6 名	
レントゲン		6 月 1 日	11 名	
納涼の夕べ		7 月 26 日	18 名	
ビアガーデン		8 月 24 日	17 名	
バザー値つけ		9 月 25 日	4 名	
バザー		10 月 14 日	10 名	

9. 職員

○ 各種委員会

おたのしみ企画委員会

「逆デイサービス事業」の推進と次のような目的を掲げ検討いたしました。

- ・ ニューフジホーム入居者の外出の機会を増やし、地域住民とのふれあいや交流を図ること。
- ・ バーベキュー(中庭)の実施について
- ・ 近隣にある非営利活動法人「ひだまり」の一室を利用してユニット的ケアの実践を行うこと。
- ・ 地域社会とのふれあいのなかで介護予防を促進すること。

衛生委員会

施設内の衛生管理及び職員の健康の維持、向上が図れるよう検討いたしました。今年度は職員のストレスチェックや腰痛体操を行える環境づくりに取り組みました。また職員の腰痛対策として腰痛体操を職員が多く参加できる午後に実施しました。

- ・ 血圧、体重測定(年2回)
- ・ 成人病予防検診(年1回)
- ・ 健康診断(夜勤者従事者対象)
- ・ ストレスチェックアンケートの実施

身体拘束廃止委員会・事故対策委員会

毎月1回第2火曜日に抑制廃止、事故対策委員会を開催しました。また人権尊重と安全への配慮という視点から取り組みを行いました。現在ニューフジホームでは身体拘束は行っていませんが、職員への啓発やいわゆる「言葉の拘束」の防止にも積極的に取り組みました。また、転倒予防のセンサーマットについても、利用者の生活を制限する意味では安易な使用を行わないように常に設置の是非について検討しています。

今年度は状況報告書(事故報告書)について、事故に至らない案件や重大な事故等に分類し分析に役立てました。事故分析することで、委員会より転倒防止のため福祉用具を提案したり、予防できる事故を起こさないようにするなど、職員への注意喚起を行いました。

① 状況報告書の記録の書き方と記録の徹底

- ・ 記入もれなどを確認し、不足箇所がないよう指導。
- ・ 一週間後の報告、期限厳守の徹底。
- ・ 痣、擦過傷等の検証、ヒヤリハットの記入の徹底。

② マニュアルの徹底とOJTの活用

- ・ 各自がマニュアルを徹底することで誤薬などの事故が激減し成果を挙げました。
- ・ 新任者も含め全介護員に配布し、作成したマニュアル活用をOJTや勉強会で喚起しました。

③ 毎月の事故対策委員会の実施

- ・ データーを分析し、マニュアルの改善、業務内容・援助方法の見直しを図ることで再発防止に繋がりました。
- ・ 事故の件数を数値化し、毎月の職員会議の中で報告し、職員の事故に対する注意力を喚起しました。

研修委員会(勉強会)

月一回、委員会で話し合いの場を持ち、サービスの質の向上を目指すため、サービスマナーの強化、各マニュアルに沿った助言、指導、新人職員の育成にも力を入れ、介護職の業務全体の標準化を図り事故防止に努めました。

① 研修委員会主催の勉強会を開催

新人教育、マニュアルの活用、OJTの概要、特徴と効果、OJTの活用の仕方などを学び、業務の実践の中で活かせるよう取り組みました。

② 人材育成について

新任者対象に3ヶ月間の期間を決めて、指導担当者がどこまで習得したかを具体的に評価し、面接(1ヶ月後、3ヶ月後)を通して新任者が定着するよう新人教育の流れを明確化しました。

③ 毎月スローガンを決め、声に出すことで職員一人ひとりの問題意識を高めました。

④ 「サービスマナー」の勉強会を通して対人サービスの大切さを学びました。

「相手を大切に思う」「相手が安心する」気持ちを基本に、ロールプレー形式を取り入れながらコミュニケーション技術を学び、日常の介護サービスの中で各自が意識的に取り組み、サービスの質の向上を目指しました。

実施日	内容	講師	参加
4月20日	新任職員研修「排尿について・排便について・認知症について」	平塚主任	9
6月22日	リスクマネジメント研修報告	岡本	8
8月17日	救急対応「人工呼吸(消防署より模型を使用し実施) 口腔衛生の研修報告	大熊・奚	14
9月21日	救急対応「人工マッサージについて」	大熊	13
10月19日	「同援接遇マニュアル」研修報告 「ほんもののケアの為の研修会」	佐藤・平塚	6
11月23日	感染予防について		9
1月11日	薬の知識について	薬剤師	22
2月15日	「サービスマナーについて」		8

コスト管理委員会

- ① 節水、節電を奨励し、毎月の使用量をグラフ表式化してランニングコストの削減を目指し、一定の成果を得ました。(照明器具、エアコン)

- ② 設備、備品の定期点検や取り扱い要綱を守り、故障・破損を無くすよう努力した。
- ③ コピー用紙や紙オムツの無駄使いを無くすよう工夫しました。

広報委員会

施設のホームページの更新や「園だより」の発行に取り組みました。今年度はパンフレットを作成し、地域の方々や見学者に配布することができました。

サービス向上委員会

毎月第4金曜日 10:30 ～11:30

主任・リーダーとしての役割の確認を通して、利用者、職員間の情報収集(意見、要望、不満など)に努め、必要時各係りや委員会、介護職会議などに問題提起し問題解決や業務の見直しに努めました。リーダーは5大介護の各係や各委員の責任者も兼任しているので、問題点の抽出と分析を通して運営会議や介護職会議などに議題として提起し、改善された事柄も多く大きな成果を挙げました。

また、5大介護の計画、実施、業務の変更は介護業務全体のバランスを図りながら、調整しつつ進めた。またリーダーはOJTの代表として新人指導にも大いに貢献し、人材育成とサービスの質の向上に努めました。

その他の委員会

- ・ 入所検討委員会
- ・ 苦情解決委員会
- ・ ボランティア委員会
- ・ 感染症予防対策委員会・褥瘡対策委員会
- ・ 防災委員会

○諸会議

運営会議

毎月第1火曜日 10:30 ～ 12:00

各セクションから提案された議題に対して、解決のための方向性を検討するとともに、運営全般について協議しました。また必要に応じて職員会議あるいは各セクションにてさらに検討するなどしました。

職員会議

毎月第1金曜日 10:30 ～ 12:00

施設長からの報告連絡の場と同時に施設内の最高決定機関として位置づけ、職員全体の意見として決定しました。

ケアプラン会議(サービス担当者会議)

毎週水曜日14:00 ～ 16:00

利用者、家族、ケアマネジャー、各セクションの代表と担当介護職でケアプランを作成しました。各ケースのケアチェック、ニーズの把握、そして検討し適切なケアプランの作成に努めました。原則として、半年に一度のケアプランの作成し、必要に応じて変更いたしました。

その他の会議

- ・ 医務会議
- ・ リハビリ会議
- ・ 給食会議

職員の異動状況

① 採用

常 勤			非 常 勤		
職 種	氏 名	月 日	職 種	氏 名	月 日
介護員	大槻 玲子	4月1日	介護員	永田 美里	4月1日
„	真野 学	4月1日	看護師	石原 さとみ	4月10日
栄養士	樋口 あやの	9月1日	„	丸山 恵理	6月26日
			介護員	土屋 久美	8月18日
			看護師	佐藤 小百合	9月17日
			„	渡邊 結花	10月1日
			介護員	石黒 祐子	10月22日
			„	細野 智子	11月4日
			看護師	井ノ上 ユリ子	1月1日
			看護師	澤井 由美子	3月9日
			介護員	豊田 明弘	3月18日

② 退職

常 勤			非 常 勤		
職 種	氏 名	月 日	職 種	氏 名	月 日
栄養士	加藤 和香子	8月31日	介護員	山内 れい子	4月30日
看護師	佐藤 小百合	9月16日	看護師	丸山 恵理	12月25日
看護師	高橋 武也	3月31日	介護員	今野 真子	12月31日
			看護師	佐藤 小百合	12月31日
			介護員	永田 美里	2月25日
			„	人見 真理子	3月31日
			„	萩尾 弘美	3月31日

③ 法人内異動

(転出)

職 種	氏 名	月 日	異 動 後 施 設
介護員	山口 慎二	7月1日	か え で

表 彰

東京都同胞援護会

永年勤続者表彰(10年以上)

介護員

片岡 由佳

研 修

(1) 派遣研修

(東京都関係)

	月 日	研 修 会 名	場 所	参 加 者
1	5/27	地域における摂食機能支援 研修会	新歯科医師会館	跡部、学原
2	7/16	社会福祉事業従事者 人権研修	東京都社会福祉 保健医療研修センター	土田
3	9/9	社会福祉事業従事者 人権研修	東京都社会福祉 保健医療研修センター	野村
4	10/16	感染症予防講習会	豊島公会堂	樋口
5	11/14	感染症対策指導者 養成研修	東京都社会福祉 保健医療研修センター	大熊
6	11/17	口腔ケア研修	心身障害者 口腔保健センター	跡部、野村
7	12/8～9	認知症管理者研修	代々木青少年センター	相原
8	12/11	認知症管理者研修	代々木青少年センター	相原
9	12/15～16	認知症管理者研修	代々木青少年センター	相原
10	12/16	高齢者権利擁護推進事業 介護サービス事業 管理者研修	ルネこだいら大ホール	魚津
11	1/6～7	認知症管理者研修	代々木青少年センター	相原
12	1/9	認知症管理者研修	グループリビングこまき	相原
13	1/19	認知症管理者研修	代々木青少年センター	相原
14	3/17	東京都看護実務者研修	トヨタ東京教育センター	大熊
15	3/17	介護報酬改正に伴う 事業者説明会	中野サンプラザホール	魚津

(社協・老人福祉部会関係)

	月 日	研 修 会 名	場 所	参 加 者
1	4/18	機能訓練指導員研修会	飯田橋セントラルプラザ	長山
2	4/24	高齢者施設福祉部会 (北南ブロック)	立川女性センターアイム	相原
3	5/15	介護現場における スーパービジョン	トヨタ東京教育センター	坂庭
4	5/29	生活相談員研修会 (北南ブロック)	至誠ホーム	魚津, 田中(雄)
5	6/21	都民フォーラム	中野 ZERO 大ホール	魚津、坂庭
6	7/9	高齢者施設福祉部会 (北南ブロック)	立川女性センターアイム	相原
7	7/18	機能訓練指導員研修会	飯田橋セントラルプラザ	長山
8	7/23	サービスマナー リーダー養成研修会	研究社英語センター	相原
9	7/31	生活相談員研修会 (北南ブロック)	ときわぎ国領	魚津
10	8/1	機能訓練指導員研修会	飯田橋セントラルプラザ	長山
11	8/13	サービスマナー リーダー養成研修会	飯田橋レインボービル	相原
12	9/9	ソーシャルワーク研修会	飯田橋レインボービル	魚津
13	9/9	介護職員における ストレス調査に関わる プレ調査	飯田橋セントラルプラザ	平川
14	9/18	サービスマナー リーダー養成研修会	飯田橋レインボービル	関根
15	9/30～10/1	関東ブロック 老人福祉施設研究総会	静岡市	高橋、岡本
16	10/2	介護職員における スーパービジョン・ フォローアップ研修	研究社英語センター	坂庭
17	10/9～10	生活相談員研修会	パシフィコ横浜 アネックスホール	田中(雄)
18	10/17	機能訓練指導員研修会	飯田橋セントラルプラザ	長山
19	10/22	サービスマナー リーダー養成研修会	飯田橋レインボービル	関根
20	12/4	高齢者施設福祉部会 部会総会	ホテルメトロポリタン エドモント	相原
21	12/18	高齢者福祉研究大会 アクティブ福祉 in 東京'08	京王プラザホテル	田中(雄) 田中(真)

22	1/14	「ショートステイから見える在宅福祉介護保険の今」研修会	トヨタ東京教育センター	田中(雄)
23	1/16	機能訓練指導員研修会	飯田橋セントラルプラザ	長山
24	1/22	全国老人福祉施設研究会議（三重会議）	三重県四日市市	魚津
25	2/2	高齢者福祉施設におけるリスクマネジメントに関する研修会	フィオーレ東京	小出
26	2/12	生活相談員研修会（北南ブロック）	ときわぎ国領	魚津
27	2/14	栄養士、調理師研修会	武蔵野栄養専門学校	樋口
28	2/17～18	介護職専門研修会	第一ホテル両国	片岡
29	2/19	高齢者施設福祉部会 部会総会	ホテルメトロポリタン エドモンド	相原
30	2/20	機能訓練指導員研修会 （フォローアップ研修）	研究社英語センター	長山
31	3/14	「高齢者福祉施設における最新の褥瘡ケア」 研修会	研究社英語センター	市橋
32	3/13	「今、改めて考える施設 ケアマネジメント」 研修会	家の光会館	田中(雄)
33	3/19	生活相談員研修会	あいおい損保新宿ホール	田中(雄)

(法人関係)

	月 日	研 修 会 名	場 所	参 加 者
1	5/15	介護ソフト説明会	ひかり苑	相原、魚津
2	5/29	高齢者支援系 介護員連絡会	フジホーム	若生
3	6/17	介護ソフト説明会	ひかり苑	相原、魚津
4	6/25	介護ソフト説明会	ひかり苑	相原、魚津 宇佐見
5	6/26	高齢者支援系 栄養士連絡会	ひかり苑	加藤
6	6/27	摂食・嚥下勉強会	昭島病院	大熊、若生 坂庭、岡本 平川、今福 齊藤(恵)
7	7/10	高齢者支援系 介護員連絡会	原町ホーム	若生、関根

8	7/11	課題別研修会	原町サービス センター	佐藤
9	7/28	高齢者支援系 看護師連絡会	サンホーム	大熊
10	7/29	新人研修会	ひかり苑	大槻、真野
11	8/1	高齢者支援系 相談員連絡会	ひかり苑	相原、魚津
12	9/17	介護ソフト説明会	ひかり苑	相原、魚津 若生、 宇佐見
13	9/18	高齢者支援系連絡会	原町サービス センター	相原
14	9/19	中上級研修	原町サービス センター	小島
15	9/25	高齢者支援系 介護員連絡会	ニューフジホーム	若生
16	9/26	高齢者支援系 看護師連絡会	フジホーム	大熊
17	10/22	高齢者支援系連絡会	原町サービス センター	相原
18	11/11	高齢者支援系 栄養士連絡会	原町ホーム	樋口
19	11/11	新人研修会 (フォローアップ研修)	原町ホーム	大槻、真野
20	11/20	高齢者支援系 介護員連絡会	ゆたか苑	若生
21	11/21	福祉サービス研究発表会	中野ゼロホール	園長、魚津 若生
22	11/27	人事考課研修	ゆたか苑	園長、魚津 若生
23	12/4	「メンタルヘルス中間管 理者」研修会	原町サービス センター	魚津、若生
24	12/15	高齢者支援系 看護師連絡会	原町ホーム	大熊
25	1/15	高齢者支援系 介護員連絡会	原町ホーム	若生
26	2/5	介護ソフト説明会	ひかり苑	魚津、若生
27	2/16	高齢者支援系 看護師連絡会	ゆたか苑	大熊
28	2/26	高齢者支援系 生活相談員連絡会	フジホーム	園長、魚津
29	2/26	「スウェーデンの福祉サ ービスとブンネ法」研修 会	フジホーム	相原、長山 清重、儀保

30	3/4	高齢者支援系連絡会	原町ディサービス センター	相原
31	3/5	新人研修会 (フォローアップ研修)	フジホーム	大槻、真野
32	3/9	新任職員研修会	原町ディサービス センター	樋口
33	3/10	新任職員研修会	ライトホーム	樋口
34	3/12	介護ソフト説明会	ひかり苑	魚津、若生
35	3/24	高齢者支援系連絡会	原町ディサービス センター	相原

(その他)

	月 日	研修会名	場 所	参加者
1	7/3	食中毒講習会	多摩立川保健所	加藤
2	10/21	看護師採用説明会	ナースバンク立川	相原
3	2/21	「第12回地域サロン・ 宅老所・グループホーム 全国研究交流 フォーラム in しが」	滋賀県大津市	田村
4	2/24	介護実習連絡会	東京 YMCA 医療福祉 専門学校	齊藤(恵)
5	3/7	ヘルシーフードセミナー	日本消防会館	樋口、岡本
6	3/7	実習施設研究交流会	明治学院大学白金校舎	魚津
7	3/13	「至誠ホーム ミンナ」 内覧会	至誠ホーム ミンナ	相原

10 . 防 災 訓 練

月 日	訓 練 内 容	参加人数		備 考
		入居者	職員	
4月4日	連動操作盤、防災設備、放送設備の説明		9	
5月2日	日中の出火想定訓練(含地震) (初期消火・避難誘導)	8	7	
6月19日	緊急連絡網継走訓練		62	
6月24日	防災設備・連動操作盤説明 誤報時の対応		5	
7月4日	屋内消火栓、消火器訓練		16	ミナミ指導
8月1日	地震発生後の出火想定訓練(夜間)	10	8	
9月6日	昭和郷施設合同防災訓練	101	101	地域自治会 連携
10月3日	防災設備の説明 (火災受信機・防火戸・シャッター)		7	
11月7日	防災機器の説明	0	5	
12月5日	防災ビデオ上映会	16	6	
1月4日	防災機器の説明	5	5	
2月6日	地震発生後の出火想定訓練(夜間)		11	
3月7日	エレベーター救出訓練		20	ミツビシ指導

会 計

20年度 決算報告 概要

収入の部		支出の部	
科 目	金 額(千円)	科 目	金 額(千円)
介護保険収入	43,618	人件費支出	23,902
その他の事業収入	294	経費(直接介護費)	5,831
国庫補助金等 別積立金取崩額 特	1,062	経費(一般管理費)	4,781
受取利息配当金収入	0	減価償却費	1,849
寄付金収入	80	引当金繰入	843
雑収入	22	事業外支出	65
事業外収入	69	会計区分外繰入金支出	1,552
		当期活動収支差額	6,322
合 計	45,145	合 計	45,145

施設整備

1.施設固定資産物品購入

月 日	件 名	金 額	備 考
4 月 1 日	カラーコピー機	999,600	
4 月 1 日	温冷配膳車	987,000	
10 月 31 日	電動ベッド3台	885,123	

2.施設改修工事

月 日	内 容	金 額	備 考
4 月 1 日	1・2階喫茶室床他修繕	947,100	
6 月 30 日	2階介護室多目的ホール床修繕	513,450	
3 月 31 日	2階一般浴床修繕	942,900	